

◇ 医師からのコメント抜粋 (一部割愛・編集しています) ◇

交渉をするかが肝心です。(40代,内科,診療所・クリニック(19床以下))

・一次産業は大きな影響を受ける可能性が高いと思うので、しっかりした対応が必要。医療業界はそんなに大きな影響はないと思うし、そう願いたい。(50代,内科,診療所・クリニック(19床以下))

・日本の経済が立ち行かなければ医療費そのものが払えなくなるので変えられない流れだと思います。(40代,精神科,診療所・クリニック(19床以下))

・医療のレベルに関して、日本は高度であるのでTPPに参加しても問題ない。(60代,外科,上記以外)

・TPP参加は日本にとってもビジネスチャンスだと思う。(30代,麻酔科,一般病院(20床以上))

・見通しが不透明すぎて議論の対象にならない。そういう状況でも話を進めて行く政府のやり方に大いなる不信感がある。(50代,呼吸器内科,大学病院)

・日常診療にどのような変化が生じるのか、不安が強い。(30代,呼吸器内科,一般病院(20床以上))

・医療関係の情報が少ない。(50代,皮膚科,一般病院(20床以上))

・保険医療の適応範囲の縮小につながり賛成である。(30代,整形外科,大学病院)

・TPPで既存の勢力は痛手をこうむると思うが、逆に良くなる場所もあるのではないかと期待する。(50代,泌尿器科,一般病院(20床以上))

・いずれ営利目的の企業が参入してくるでしょうね。そうなれば、皆保険も潰れるでしょう。(60代,小児科,一般病院(20床以上))

・日本の法律の上に来るような条項の導入など許されない。(30代,腎臓内科,一般病院(20床以上))

・時代の流れとして受け止めないといけないし既得権は放棄すべき。(50代,神経内科,一般病院(20床以上))

・デンマークのハーモナイズアップの原則などを参考にした交渉や規制の緩和を進めることも一つの方策かと思います。(60代,循環器内科,一般病院(20床以上))

・TPP反対だが、もう政府は決めてしまっているのだろう。(40代,外科,一般病院(20床以上))

・日本医師会の主張はもっともだと思うが、たとえ政府が医師会の主張を受け入れてTPP参加したとしても、いずれ約束は反故にされると思う。ISD条項は大変な曲者である。(40代,精神科,一般病院(20床以上))

・TPP参加は少なくとも医師の既得権益を脅かすものにはなると思うが、ある程度医療が自由化されれば医師が淘汰され診療のレベル自体は上がると思う。(40代,小児科,大学病院)

・どういう話が進められるのか、逐一情報がほしいし、国民がそれに対し、反対か賛成かある程度意見が言えるくらいにあってほしいなと思います。(30代,神経内科,大学病院)

・報道では主として農産物など関税障壁に関することが取り上げられているが、ISD条項も含めて非関税障壁のほうが日本の社会を大混乱に陥れるものとしてもっとしっかりと知らしめるべきだと考える。(50代,その他,上記以外)

・正確な内容を国民に知らせずに、進んで行っていることが怖い。誰の意思で進んで行っているのか分からない。(40代,循環器内科,診療所・クリニック(19床以下))

・制度としての「国民皆保険」は維持されたとしても、実際に受けられる医療や介護の質と量が患者の経済状況によって左右される「米国型」にシフトさせられる。(50代,整形外科,一般病院(20床以上))

・保険システムにおいては費用がかかる割に効果の無いアメリカシステム。費用がかからない割にアメリカより効果を出している日本システム。これで何故システムまでアメリカ型に追従しなければならないのか。(30代,循環器内科,大学病院)

・現在、世界的な経済競争の中で日本が取り残される可能性が強く感じられるため TPP は必ず締結してほしい。(60代,呼吸器内科,一般病院(20床以上))

・一旦 TPP 交渉の場について以上、医療の場の変化は避けられない。ましてや、現在の政策で医療費を確保しようとするより如何に削減するかを重要視している以上、混合診療の規制緩和等はほぼ決定的と言っていいだろう。アメリカをはじめとする諸外国の圧力に日本が外交的に抗しきれるとはとても思えない。(50代,外科,一般病院(20床以上))

・TPP参加でどのように変化するのか、十分に理解できていない。政府はもっと具体像を示してほしい。(60代,整形外科,一般病院(20床以上))